
X・B・S 千歌音と姫子の場合

セイバー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

X・B・S 千歌音と姫子の場合

【Nコード】

N6435P

【作者名】

セイバー

【あらすじ】

聖なる夜の愛の物語。それは一人の少女の悩みから始まった。クリスマス小説第十四弾です。

姫子

「千歌音ちゃん、どうしたの？」

千歌音

「ひ、姫子、なに！？／＼／」

姫子は千歌音が授業中にもかかわらず、ボーっとしていたのを心配していたのだ。いつもはこのようなことは千歌音にはないからだ。

姫子

「珍しいね。千歌音ちゃんがボーっとするなんて」

千歌音

「そ、そうかしら……。人間は神にはなれないわ。完全な人間なんていないでしょう？」

姫子

「明日はクリスマスだよ。だから……」

千歌音

「そうね……。せっかくだもの……。今日は二人っきりですごしましょ」

姫子

「千歌音ちゃん……。／＼／／」

そして

姫子

「メリークリスマス!!」

姫子と千歌音は二人でパーティをしていた。なお、メイドである乙葉は今日は海外へ出張に行っていたのだ。

姫子

「千歌音ちゃん。どうしたの？さっきから元気ないけど……」

千歌音

「ごめんなさい。ただ．．．いつまでこうしていられるのかなって．．．」

姫子

「千歌音ちゃん？」

姫子は千歌音の言ってる言葉の意味がわからなかった。

千歌音

「さっきも言ったとおり、完全な人間はいないって。私たちには寿命がある。そえに事故で死ぬかもわからない。ただでさえ、かつて陽の巫女と月の巫女として争ったこともあるし．．．」

姫子

「千歌音ちゃん。確かに人は完全じゃないかもしれない。でもね、こえだけは言えるよ。私達はいつでも一緒って。過去を悔やむよりも今を一生懸命生きよう」

千歌音

「姫子．．．そうね。今日は楽しみましょう」

姫子

「千歌音ちゃん．．．。うん！」

姫子は喜んでいた。愛する千歌音の顔に笑顔が戻ったからだ。そして二人の影は一つになった。

そして数年後、女性同士の結婚が合法化され、姫子と千歌音は永遠の愛を誓った。そう．．．、何回転生しても、何百回転生しても．．．。その愛は変わらない．．．。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6435p/>

X・B・S 千歌音と姫子の場合

2011年8月28日05時57分発行